

ご せい かい
五省会 ニュース



ようそろ

特定医療法人 財団五省会

西能病院

整形外科センター 西能クリニック

西能みなみ病院

介護老人保健施設 みどり苑

発行人 理事長 西能 淳

2017 Spring

Goseikai News

五省会
ニュース

Since 1980

200

記念号

200 Memorial



医療と広報創刊200号に寄せて

1980年、西能正一郎が「正しい医療の理解を」との思いで創刊した本誌が200号を迎えました。当初は医療者がその仕事の実状をオープンに伝える先駆的な病院広報として耳目を集めたと聴きますが、今ではテレビや新聞、スマホの画面にも医療情報があふれ返り、診察の待ち時間の手なぐさみに目を通していただくのも簡単ではない時代になりました。

医療に従事するものは、その基本的な姿勢として、医療者と患者の間には決して埋まらない溝がある、ことを自覚せねばなりません。ある一つのデータやエビデンスですべてを語ることができないのが医療の実状であり、白か黒かで割り切れない事柄に向き合うのが医療者の職務です。病気や障害についての知識のバックボーンにも大きなギャップが存在し、ときに患者と医療者の相互理解を阻みます。

医療における情報共有やコミュニケーションは、容易には成り立たない。情報百花繚乱の現代にあつて、私たちはときにそうした認識を見失いがちです。安易に伝えた気になったり、押し付けがましいだけの内容を提示したり、発信するほどに患者と医療者の齟齬が深まっていくようなジレンマを覚えます。

そんな自戒の念を胸にこれからの本誌に期待する役割を考えると、大切なのは、伝えよう、届けようとする私たち医療従事者の心構えなのではないか、という思いに至ります。患者さんとの間に溝があるからこそ、お堀の内側で座して待つのではなく、自ら城の外へ出て行って、言葉や思いを発信する。それが地域包括ケアの時代の医療者の姿勢であり、病院広報のもっとも重要な役割ではないでしょうか。何を語るか、よりも、どう語り、いかに届けるか。そのことをいっそう大切に、これからの「ようそろ」の航路を描いていけると素晴らしいと思います。

特定医療法人財団五省会

理事長 西能 淳

2000～ まいけ編集室

みどり苑建設直前の2000年から13年間、約70号の『五省会ニュース』の編集に携わりました。介護保険制度が始まり、西能みなみ病院、現在地に新病院が完成し、スポーツ外科を標榜する過渡期で、医療・介護の最新情報や患者さんや利用者さんを元気づける記事を発信しました。取材を通してスタッフや患者さん、地域の方々と親しく交わり、辛い治療もQOL



を維持しながら楽しく？と、医師と専門職がタッグを組んでチャレンジしていく様子がいつも感動していました。

まいけ編集室 堀江 節子

2013～ ワールドリー・デザイン

昨年末、IT大手が運営する医療情報サイトの信ぴょう性が問題となり非公開となった出来事がありました。

少子高齢化で医療・介護現場での人材確保や育成が課題となる一方、インターネット上はさながら大海原のごとく、一生かけても見きれないほどの情報があふれています。だからこそ、「何を」という【情報提供】だけでなく、「誰が」「誰へ」「誰と」という語り手と受け手の

【関係づくり】が大切になってきています。今の時代だからこそ、思いと手間をかけたアナログな広報誌づくりをお手伝いしていきたいと思っております。

ワールドリー・デザイン
明石 あおい



1980年の創刊から37年。おかげ様で200号を発刊することができました。取材、編集にご協力いただいた皆様、ありがとうございました。おにぎり記者の時代から広報を担当しております広報委員長をはじめ、広報委員一同、これからも皆さんが手にとってくださる魅力ある広報誌を目指します。今後とも宜しくお願い申し上げます。

五省会広報委員一同



左・カルテの余白 趣味や休日の過ごし方、仕事への想いなどを医師自らが発信するコーナー。診療時には見られない意外な一面を知ることができると、患者さんにも好評でした。
右・ヘルシーメニュー 寒さを乗り切る料理や夏バテ予防メニューなど、医療機関ならではのレシピを紹介。

平成14年カラーに刷新

地域情報誌の装いを強め、医療を身近に

少子高齢社会を迎え、患者さん一人ひとりを尊重した個性のある医療が求められるなか、地域の方からも「もっと身近な医療が知りたい」との声が聞こえてくるように。発行人・二代西能病院理事長のもと、手に取りやすい広報誌を目指し、フルカラーのミニコミ誌のスタイルに刷新しました。



編集のこと

編集は「まいけ編集室」の堀江節子さんが手がけました。読者の対象を患者さんやそのご家族を第一とし、医療・福祉の最新情報をイラストや写真を多く用いて表現。分かりやすさをより大事にした誌面づくりを行いました。

平成26年「ようそろ」へ

医療や介護を自分ごととして捉えてほしい

分かりやすさと親しみやすさを大事にする一方で、医療従事者としての品格や職業観を重んじること。この合間でもっと、生きた広報のあり方を模索できるのではないかと、誌名を五省会ニュース「ようそろ」に変更し、リニューアルを決めました。「ようそろ」とは「宜しく候」（よろしくそうろう）を縮めた航海用語。海軍兵学校の「五省」にちなんだものです。巻頭面では、西能淳現理事長がこれからの広報誌のあり方への想いを述べています。ぜひご覧ください。



編集のこと

まちづくりとデザインの会社「ワールドリー・デザイン」が編集を担当し、2度目のリニューアルを行いました。病を取り扱うテレビ番組が増えていることや、インターネットにて自由に情報を発信・取得できることから、医療に興味を持つ人は増えていくかもしれせん。しかし、医療や介護の知恵や仕組みを理解している人はそれほど多くありません。地域の皆さんが、医療や介護を自分ごととして捉えることができる広報誌を目指しています。



◀バックナンバーは全て五省会ウェブサイトから読むことができます！



五省会ニュースのこれまでとこれから

地域と共に歩む 広報誌として



創刊当時の西能病院

昭和55年11月5日 創刊！

医療を優しく伝える
読み物を目指して

「医療は患者さんの為であり、病院は患者さんの利用があつて初めて存在価値を持つ」という理念のもと、病院運営を行ってきた発行人・初代理事長の西能正一郎。広報誌発行への想いを創刊号にてこのように語っています。

今や、病気になる前の医学が重視される時代です。即ち予防医学こそが、これからの医学の主流にならなければなりません。この目的のために、当病院では医療相談コーナーを設けましたが、この紙面でも、予防医学、健康管理のスペースを作ります。上手に医学を利用していただき、医療を受けないで暮らす一人でも多く増やしてゆくことが私たちの務めであり、私は、この紙面が少しでも皆さまに医療を正しく理解していただくための場としてお役に立つことを願うものであります。(五省会ニュース 創刊号)

医療を身近に。治療やリハビリの様子を伝える創刊号の誌面



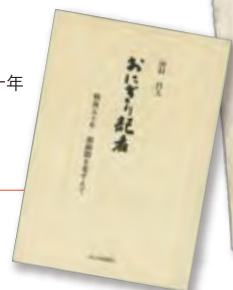
編集のこと

モノクロームの硬派な装いだった誌面の企画・編集を担当したのは、元北日本新聞社の社会部、「おにぎり記者」※で知られた田村昌夫さんです。病院の医師や職員を紹介するだけでなく、リハビリテーションに励む患者さんを取り上げるなど、医療と患者さんをつなぐ病院広報の先駆けとなる充実した誌面を届けてきました。

※『おにぎり記者』とは

大きな事件が起きた時、夜食のおにぎりをはおぼりながら取材をつづけていたことからつたもの。いわゆる事件記者のこと。田村昌夫さんが昭和50年1月6日から昭和51年5月15日まで連載していた「おにぎり記者=30年の回顧=」（北日本新聞 夕刊）という読み物が人気を博した。

『おにぎり記者 戦後五十年
激動期を見つめて』
著者：田村昌夫
発売元：北日本新聞社

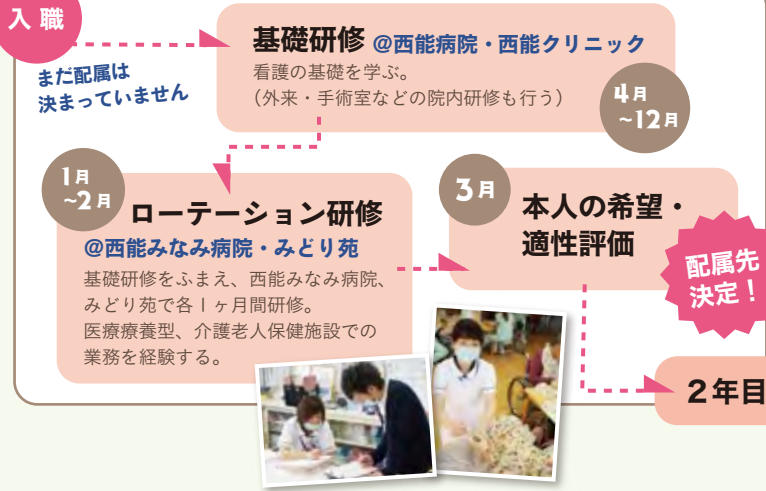


新人看護師研修プログラム ローテーション研修って?

安心サポート♪

1年かけて自分の看護観を深めます

五省会では平成25年度より新人看護師研修プログラムを刷新し、入職者のサポートを行っています。学生時代の実習とは異なる実践的な視点から、各施設で技術や考え方を学ぶ1年です。自分の看護観と照らし合わせて、自分がどこで働きたいか考えることができます。



先輩の声

各施設でしか経験することができない看護ケアを学ぶことができました。特に、西能みなみ病院とみどり苑の研修では、医療の場と療養・生活の場では全く違う看護と患者さんとの関わりが必要だということが分かり、自分自身の成長にも繋がったと思います。

西能病院 看護師
船木 斗極さん



ローテーション研修では、西能病院では経験することのできない、慢性期ならではの看護技術・知識を学ぶことができました。全ての患者さんに同じように手助けをするのではなく、患者さん一人ひとりの病態を考え、残存機能を生かした支援が大切だと改めて感じました。

西能病院 看護師
中山 水希さん



めざせ! 看護師・介護福祉士 奨学金制度 のお知らせ

五省会では看護師・介護福祉士を目指して勉強する学生を対象に奨学金を貸与しています。

お問い合わせ
医療法人財団五省会 法人本部 澤井
☎076-422-0074

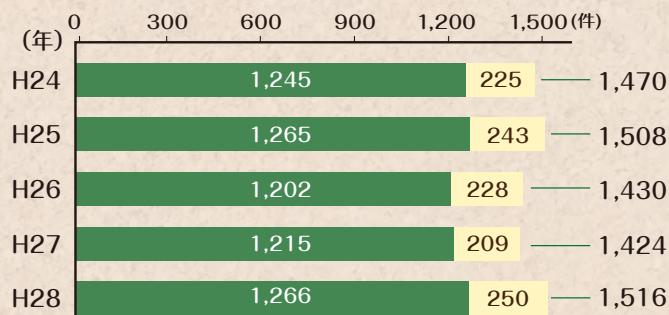
2年間、看護補助として働きながら学校に通っています。卒業後は五省会で働きたいという思いがあり、奨学金制度の利用を決めました。次の目標は看護師になること。患者さんやそのご家族、一緒に働く人たちに思いやりのある看護師になれるよう、仕事・勉学に励んでいます。



西能みなみ病院
筒井 菜乃さん

西能病院 より ご報告

平成28年度の手術件数は1,516件でした。



当院では今後も「患者さんにやさしい手術」の実践に努めていきます!



西能病院/整形外科部長(手術担当)
橋口 医師

平成28年度の特徴

関節鏡手術の充実

手・肘・膝・肩へと関節鏡を使用する手術範囲や手術内容が拡大してきています。現行の関節鏡システムでは限界があり、2016年より関節鏡を最新の4Kモデルを中心に2台新設しました。さらなる関節鏡手術の躍進を図ります。

手の外科手術の安定

堂後医師による当院の手の外科手術は富山県内随一の症例数となっています。他施設では試行できない手術や、保存治療においても最新の薬剤を利用した最先端の治療を行っています。今後も手の外科手術は着実に症例数を伸ばすと思われま。

術中脊髄神経モニタリング装置の導入

脊椎手術は年々、より複雑かつ多様化してきており、当院でも毎年、新たな術式を随時導入しています。より安全な手術治療を提供するため、2017年から術中脊髄神経モニタリング装置を導入し、脊椎手術の安全性向上を図っています。

五省会に新メンバー 27名が加わりました!

特集2

平成29年度入職式



4月3日、平成29年度入職式が行われました。好きなことや特技などはさまざまですが、患者さんや利用者さん、そのご家族の皆さんを支援していきたいという思いはひとつです。これからどうぞよろしくお願いたします。

ひとこと自己PR! 好きなものや自己PRを聞きました。

西能病院 ● 西能クリニック ● 西能みなみ病院 ● みどり苑 ● 法人本部

上段左から...

金川 貴宜さん
仕事も富山マラソンも挑戦することを楽しみます。

油本 耕二さん
一見クールですが、実はお笑いや冗談が結構好きだったりします。

川幡 優介さん
患者さんを笑顔にできる理学療法士に!

村上 奨之さん
カラオケが好きです。看護師として成長できるよう頑張ります。

辻 貴充さん
映画鑑賞が好きです。特に邦画を観ます!

宮田 航佑さん
趣味はサッカーとランニング。笑顔と体力は負けません!

窪田 峻大さん
小・中・高とバスケ漬け。五省会1のバスケ好き(自称)です!

石坂 和輝さん

謙虚な姿勢・態度を常に心がけています。

谷井 裕紀さん
体力づくりに励んでいます。富山マラソン完走します!

井上 仁さん
熱く、楽しく、お酒を飲むのが大好きです。ぜひ声をかけてください。

山本 健太さん
元気モリモリ!名前の由来通り、健康で太陽のように明るく育ちました。

中段左から...

中島 聖奈さん
趣味は洋画鑑賞と化粧品を集めることです!

坪島 慈子さん
食すこと大好きです。誘ってくださいね。

神野 真誉さん

大分出身。温泉・銭湯大好き! オススメのところ教えてください!

井上 真美子さん
日々向上心をもって頑張ります。

張 婕好さん
好きな言葉は「やればできる」どんな時でも笑顔で頑張ります!

山本 加奈子さん
ショッピングと野球観戦と富山が好きです。

大野 汐実さん
音楽鑑賞とお笑いとお食事が好きです。

山岸 真矢さん
介護の仕事とお酒が好きです!

追本 知可恵さん
山を登り始めて10年目。いつか登頂したい奥穂高岳!

按田 夢奈さん
持ち前の笑顔で頑張ります!

下段左から...

高島 彩音さん
スポーツ、水族館が好き!

坂元 彩さん
焼酎は友達、趣味はバレーボール。鹿児島出身です!

柚原 亜希子さん
「ゆずはら」ではなく「ゆはら」です!

村井 紗輝さん
お菓子づくりが大好き。暇を見つけて色々なお菓子に挑戦しています。

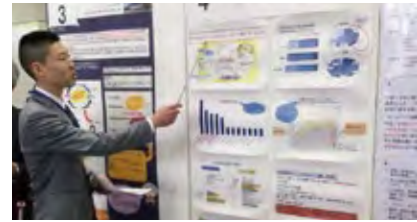
上野 静華さん
日本火腿ファイターズのファンクラブ会員です!

北村 智美さん
50歳からのスタートです。早く仕事に慣れるよう頑張ります。

Event イベント



平成28年度
富山県医学会で発表しました 1.29



ポスター発表をする大利介護支援専門員

五省会居宅介護支援事業所の大利介護支援専門員が『介護力を引き出す支援～心のつながりを目指して～』と題してポスター発表を行いました。家族構成が変化し、家族の介護力が低下傾向にある現代において、本人・家族の強みを引き出し、医療や地域と連携してきた取り組み事例を報告しました。

Seminar 地域交流セミナー



初の短距離・跳躍系選手向け
陸上競技セミナー 2016.12.17



4名のスタッフが、一人ひとりメディカルチェック

中学生陸上選手・指導者12名を招いて、西能クリニック・山森理学療法士の講義と実技を行いました。ケガ予防の方法やメディカルチェック、エクササイズなど、個別対応ありの充実した時間となりました。皆さん、しなやかな強い選手になってくださいね!

『笑いヨガ in 滑川市鹿島町』2017.2.9



アーチェリー笑いで体カアップ!

笑いヨガインストラクターの西野さんと土代さんが講師を務め、「笑いの体操」に「ヨガの呼吸法」を取り入れた『笑いヨガ』セミナーを開催。49歳差凸凹コンビによる大笑いの1時間でした。笑うと心も体も元気になりますね!

セミナーの企画を考えている団体・個人さま お気軽にご相談ください!

☎076-428-5565 介護老人保健施設みどり苑内 担当:長嶋

Event イベント



脳血管疾患に気をつけて!

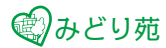
1.22 @富山市角川介護予防センター



皆さん、脳の手術画像にくぎ付けです...!!

いつも元気な病院長・西島医師が、『脳血管障害(脳卒中)に対する予防と対策～外科治療を中心に～』をテーマに講演を行いました。無症状のまま進行することも多い脳血管疾患について、症状や治療法・予防法をレクチャー。普段見られない手術中の画像もあり、83名の地域の皆さんが熱心に聴講されました。

Notice お知らせ



通所リハビリテーションでは初めての
「がんばりすと表彰」を行いました!



医師・スタッフ全員でサポートしていきます

意欲的にリハビリに取り組み、筋肉量やマシントレーニングでの負荷量、歩行距離が伸びた方、生活全般に改善が見られた方など、6名の方を表彰しました。利用当初は車椅子で移動されていたのが、自力での歩行ができるまでに回復された方もおられ、皆さんの励みとなりました。

Special

平成28年度 永年勤続表彰式が行われました 4.3



西能病院・西能クリニック職員



西能みなみ病院・みどり苑職員

勤続30年の職員をはじめ、総勢44名が表彰を受け、式では理事長より感謝の言葉とともに賞状と副賞が手渡されました。表彰者を代表し、総務課長の五十嵐均さんと看護師長の多賀誠一さんが謝辞を述べ、「多職種で協働し、地域の皆さまから親しまれ、信頼される医療を提供できるよう職員一丸となって努力します」と決意を新たに誓いました。

きよ子さんは御年91歳。今年1月に左膝人工関節置換術を受けました。取材日は退院予定日のちょうど1週間前。ご高齢での手術で「苦勞も多いただろうと思っていました」が、きよ子さんにお会いしてびっくり。杖を使うことなく、20代のリハビリスタッフと同じ速度で、廊下をスラスラと歩いていらっしゃいました。

「今は手術して良かったと思ってるけど、最初はあまり気が進まなくて。手術への不安ではなく、この年になってまで受ける価値があるのかなと」

想定以上の速さで回復され驚いています! 年齢を考えると手術も難しいのですが、いつも元気な大下さんだからおすすめしました。

岩澤医師

手術前は西能病院に通院し、注射治療を受けていました。3週間に1回の治療が、2週間に1回、1週間に1回と注射を打つ頻度が徐々に増えていきました。車を降り降ろすのも、膝が痛くて「うちもさつちもいかず、岩澤医師やご家族にすすめられて手術を決意しました。」

術後のリハビリでは、可動域を広げるためのストレッチをはじめ、車椅子の移乗、平行棒での歩行練習などを懸命に行い、今ではひとり階段昇降できるまで回復。

「あなたの努力次第でいくらでも回復できるから、リハビリを頑張りなさいと、先生が言われるので、その言葉を信じて熱心にしたが、こんなに動くようになったがよ」と抜糸を終えた膝を、上下に軽やかに動かすきよ子さん。いつまでもお元気でいてください。

少しかいけど、頑張って!

きよ子さんの元気の源

「魚よりお肉の方が好きなが♪ 脂身も大好きよ」ときよ子さん。ご長寿さんに肉好きが多いという巷の噂は本当なのでしょうかね♪

患者さん・利用者さんのほっこりするお話をお届けします。

「健康そのもので、風邪を引いたこともなければ、肩こりなどもない母。これからは穏やかに長生きしてもらおうとご家族全員の願いです」と娘さん。お母さまと笑顔で記念撮影。

リハビリを笑顔で頑張るハイパーおばあちゃん

おとした
大下きよ子さん(91)

健康やか
ほっこりリスト

五省会は 平成29年3月20日(春分の日) 創立五十五周年を迎えました

富山市星井町での開業から、無事五十五周年を迎えることができましたのも、ご利用いただいている地域の皆さま、お支えをいただいているご関係の皆さまがあつてのことと、厚く御礼申し上げます。これからの医療、これからの地域を見つめて、「信頼と奉仕」の医療・看護・介護に力を尽くしてまいりますので、今後とも変わらぬご指導・ご支援をよろしくお願い申し上げます。

役職員一同

当法人が運営する
4つの事業所につきましても、
それぞれ節目を迎えました。



創業時の西能整形外科

整形外科センター 西能クリニック
開院5周年 (2012年4月1日開設)

西能みなみ病院
開院10周年 (2006年4月16日開設)

介護老人保健施設 みどり苑
開苑15周年 (2001年4月1日開設)

西能病院
開院55周年 (1962年3月21日開設)

◆この節目を祝し、職員向けに記念品を配布いたしました。



株式会社タカタレムノスの「15.0%」アイス クリームスプーンです。タカタレムノスはデザインクロックを中心としたライフスタイルアイテムを製造する高岡発のデザインメーカー。冷凍庫から出したばかりのカチカチのアイス、美味しく、すんなり食べられる優れものです!

<http://www.sainouhp.or.jp/>

担当医は都合により変更になる場合があります。
ホームページ上の「外来診療スケジュール」にて
休診・代診などの情報をご確認ください。

整形外科センター
西能クリニック
富山市高田 71 番地 1 ☎076-422-1551

再診予約専用ダイヤル
整形外科 ☎076-422-1552
リハビリ ☎076-422-1553
電話予約：月～金
午前 8:30～12:00
午後 1:30～5:00

	平日診療						休日診療			
	受付時間	月	火	水	木	金		土・日・祝		
整形外科	午前 8:30～11:30	●市村 和徳 ●信清 正典 ●西能 健 ●御旅屋 宏史	●山田 均 ●橋口 津 ●青木 雅人 ●堂後 隆彦	●山田 均 ●橋口 津 ●西能 健 ●川口 善治 (9:00～)	●山田 均 ●堂後 隆彦 ●御旅屋 宏史 ●仲井間 憲成 ●岩澤 智宏 (第1・3)	●山田 均 ●信清 正典 ●岩澤 智宏 ●奥田 鉄人	午前 8:30 ～ 11:30	交替制		
リハビリテーション科	午後 3:00～5:00	●山田 均 ●西能 健 ●堂後 隆彦	●信清 正典 ●御旅屋 宏史 ●岩澤 智宏	●山田 均 ●市村 和徳 ●松下 功	●山田 均 ●市村 和徳 ●橋口 津	●山田 均 ●市村 和徳 ●青木 雅人			午後 1:30 ～ 4:30	交替制
	午後 5:00～6:30	●堂後 隆彦	●岩澤 智宏	●松下 功	●橋口 津	●青木 雅人				
リウマチ科	午後 2:00～6:00	※初診受付は午後 5:00 まで		●松下 功						

★午後5:00～6:30
こちらの時間帯は、診療・リハビリとも完全予約制となっております。

西能病院 富山市高田 70 番地 ☎076-422-2211

	受付時間	月	火	水	木	金
内科	午前 8:30～11:30	●角 朝信		●松井 祥子 (~11:00) ●亀井 哲也 (11:00～)		●浅野 諒子
	午後 3:00～5:00	●亀井 哲也	●亀井 哲也	●亀井 哲也	●亀井 哲也	●東 祥嗣
麻酔科 (予約制)	午前 8:30～11:30		●増田 明	顔面・眼瞼痙攣外来		
	午後 3:00～5:00		●吉山 毅			



西能病院・西能クリニック
●呉羽コース
●婦中コース
●富山駅コース
月～金曜 午前運行

西能みなみ病院 富山市秋ヶ島 145-1 ☎076-428-2373

	受付時間	月	火	水	木	金	土
脳神経外科	午前 8:15～12:00	●西高 美知春 ●原田 淳	●西高 美知春 ●原田 淳	●原田 淳	●西高 美知春 ●原田 淳	●西高 美知春 ●原田 淳	富山大学 脳神経外科
	午後 1:30～3:30	予約制			予約制		
脳ドック	午後 1:30～3:30		○		○		
内科	午前 8:15～12:00	●石原 元	●森本 茂人	●石原 元	●大黒 正志	●石原 元	●石神 慶一郎
整形外科 リハビリテーション科	午前 8:15～12:00	●青木 雅人	●市村 和徳	●市村 和徳	●西能 健	●市村 和徳	整形休診 リハビリ 再診のみ
短時間型 通所リハ		平日	午前 9:30～11:30	午後 1:00～3:00、3:00～5:00			

西能みなみ病院
●新保地区コース
●熊野地区コース
月・水・木曜 午前運行

自由乗降です。バスがきたら手をあげて合図をしてください。
運行ルートや発着時刻は、ホームページまたは受付でおたずねください。

介護老人保健施設
みどり苑 富山市秋ヶ島146-1 ☎076-428-5565

- 入所サービス
 - デイケア (通所リハビリテーション)
 - ショートステイ
 - 居宅介護支援事業所
 - 訪問リハビリテーション
- ボランティア募集!**
【時間】 月・火・木・金の午前・午後
【内容】 入浴後のドライヤーかけ、利用者の活動サポート、話し相手

「ようそる」の由来

「このまますすぐ前進せよ」を意味する航海用語です。海軍兵学校の「五省」を医療の信条とし「信頼と奉仕」の医療・介護をすすぐ貫いていこう、という思いが込められています。

五省会
ユニフォームが新しくなりました!
お待ちしております!!
西能クリニック 外来フロアマネージャー・医療クラーク・医事受付の新制服です

編集後記 今回のふきだし
おかげ様で 200 号。これからもよろしくお願ひします。(K)
歴代の広報誌編集者に敬意を込めて (S)
編集委員 15 年目。まだまだですね。(N)
新年度! 新たな気持ちで頑張りましょう! (M)
屋台を楽しみに桜を見に行きたいと思ひます! (H.K)
新入職の皆様から元気をもらいつつ 挑戦・変化・成長! (Y)
編集: ワールドリー・デザイン